

円陣～エンジン～



令和元年 9月 24日
根獅子小 校内研修通信 No8
文責 松田 優子

昨日は、校内研修お疲れさまでした。授業研究会では、うまく進行することができず、まだまだ言い足りないこともあったかと思えます。また、人権の視点で話すのか、算数科の教科的なことではなすのかも不明確で、先生方にはご迷惑をおかけしました。実質今年度から始まったような人権推進事業のほうも授業研究会の在り方から研究を深めていかなければならないと感じました。今後ともご協力をお願いします。

(先生方の感想)

- 1年生を相手に、体験活動を入れた授業をされたのはすごいと思いました。言葉+絵の板書でわかりやすかったです。
- 「ペットボトルに入っている水の高さが違うから、アの方が多し」という理由を子どもたちのボキャブラリーの中で必死に伝えようとしている姿に主体的な姿勢を感じました。
- Y君が机を占領してしまっている時、自分だったらついきつい言葉で言ってしまいそう・・・と考えましたが、高橋先生はY君が気づくまで我慢強く待っておられ、Y君も何かしら感じることはあったのではと思います。
- Aさんの文字と椅子のガタガタが少し気になりましたが、一生懸命頑張っていました。
- 高橋先生にしか出せない優しい雰囲気、子どもたちの好奇心も高く、純粋に授業を楽しんでいたのではないかと思います。ありがとうございました。

- あいさつ・体験活動、教材の準備等 自分には行き届かない部分がしっかりされていてすごいと感じました。
- 今回、藤井先生がされていた人の行動から心情を読み取ることにチャレンジしてみて、人間模様が見え、興味深かった。
- 算数について話すのか、人権について話すのか、話し合いの場が行ったり来たりするので、分けた方がよいのかなと思いました。
- 今回、高橋先生の授業を見て、意図的に人権を試す場の設定をしてみると面白いと感じた。

- めあてを皆で読み、確認する際「くらべかた」の部分に、先生が赤丸で囲んでおられたので子どもにもめあてが入ってきやすいと感じた。
- 実際に水に移しかえる容器自体にもア・イとマジックで文字を書いてあげたらよかったのでは。
- ワークシートにマス目もあり、言葉もわかりやすく書かれてあったので、記入がしやすかった。
- Y君のように自我が強い子が他者に譲ってあげるようになるよう指導するには、,, どうしたらいいだろう。
- 視覚で分かりやすい形で、色を付け、掲示物によって子どもにもわかりやすい授業となっていた。
- ガイド役もしっかりと発言し、周りも反応して、一年生の成長を感じました。

- 指導案作成の時から、子どもたちの反応を的確に読み取り、内容を考えられていて、さすがだな、すごいなと思いました。子どもたちの反応予想、それに対する応答予想を考えられる力を自分も身につけたいと思います。
- 子どもたちの発達段階、様子に合わせて板書やノートを考えられていてとても勉強になりました。
- 子どもたちにとって体験活動が大切であるということで、あえて色々な体験活動を仕組んでおられたことがすごいと思いました。子どもたちにとって操作活動は大切なのだと学びました。
- 3人組が操作活動をしているときに、2人の子どもたちが自分たちで目線を合わせようと座り込んだところに「見たい。知りたい。」という気持ちが見られて良かったです。
- H君は、発表ボードの準備を友達がしているときに、一番のいい姿勢を見せました。一年生ながらに、自分の考えを発表したい、表現したい、聞いてほしいという気持ちがあるのだと思います。主体的な学びがその行動に見えました。その考えを聞いてもらえる環境（友達が自分を見てくれる、うなずきながら聞いてくれる）を整えていくことが、人権が保たれている学習環境につながるのではと思いました。2年生も聞いて反応するということを進めていきたいと思います。

- 入学当初に心配された3人も学習に意欲的に向かう姿が見られてよかった。
- 発表の仕方や意欲的に手を挙げて発表をする姿が多く見られた。
- 調べ学習で、操作することを譲らなかったのは、自分がやりたいという気持ちの裏返しだととらえることができるのでは。
- 5人の児童の意外な一面が見られた。普段の様子との違いを見て、学習と普段の行動の切り替えができていたのであると感じた。
- 姿勢保持が45分間できていて、学習規律がしっかりと身につけていると感じた。

高橋先生、ありがとうございました！！